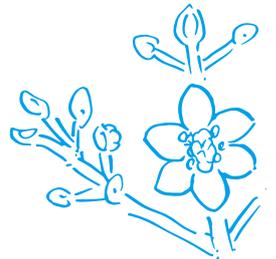
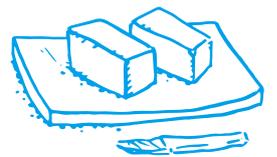
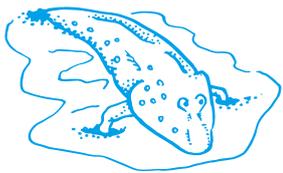
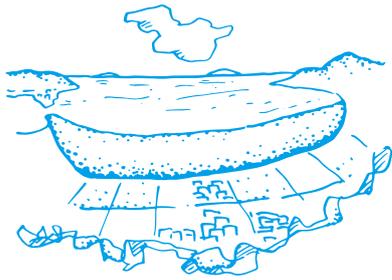
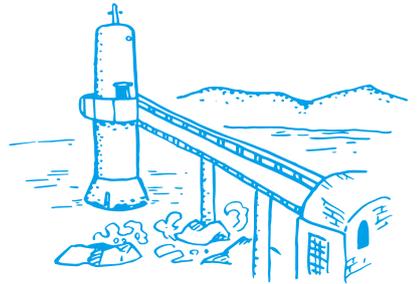


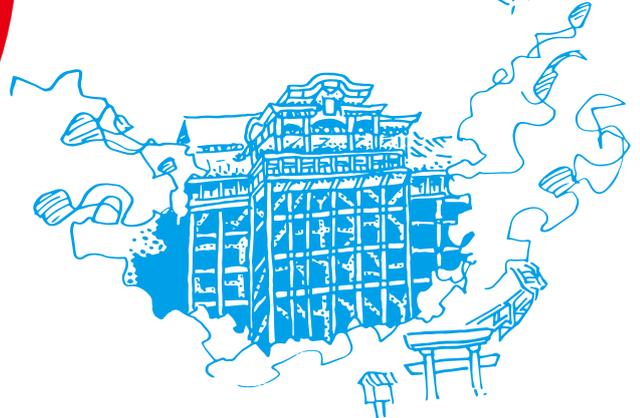
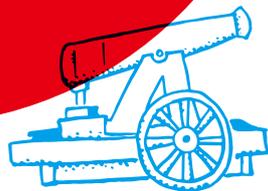
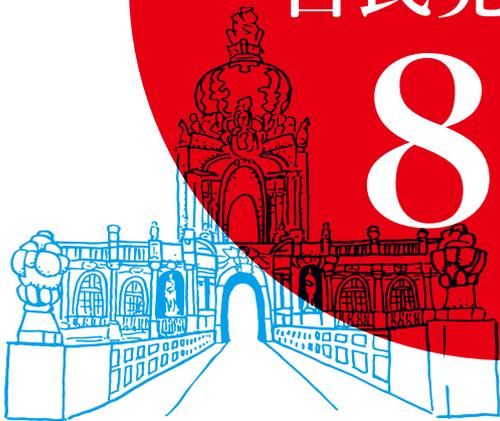


つくる。豊かな国を

豊かな佐賀が、



82万県民
 みんなが活躍できる
 社会を目指して
 自民党佐賀の
 8つの
 提案



82万県民みんなが活躍できる

すばらしい **佐賀** を創る。

「豊かな佐賀が、豊かな国をつくる。」

わが党が再び政権を担当して6年が経過しました。

私たち自民党はアベノミクスによる景気回復の実感を「地方」に届けるため、経済再生と財政再建の両立実現を着実に進めて参りました。

結果、アベノミクス6年の実績として、

- 若者の就職内定率：**過去最高水準** → **佐賀県の高卒者の就職内定率 99.6% (2019年3月卒業) 過去最高**
- 有効求人倍率：**史上初、47都道府県で1倍超え** → **佐賀県では1.31倍 (2019年4月) 高水準を維持**
- 中小企業の倒産：**28年ぶりの低水準** → **佐賀県の企業倒産件数は36件 (2018年度) 低水準を維持**

と着実に持ち直している現状ではあるものの、まだまだ足りていません。

日本は、首都圏に人口が集まる傾向にあり、ヒト、モノ、カネが大都市に集中することで非効率な国になっています。今こそ、東京一極集中を是正し、都会から地方への流れをつくることが重要です。

佐賀県には誇れる自然、すばらしい伝統文化、美味しい食べ物、そして人情味あふれる人々とのふれあいがあります。

佐賀にはもっと大きな可能性があるはず。「豊かな佐賀が、豊かな国をつくる。」私たちはそう確信しています。

8つの提案で「佐賀の明日を切り拓く。」

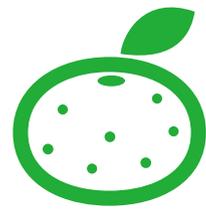
昭和30年11月に自民党が立党、翌年1月に自民党佐賀が結党しました。

平成は、東日本大震災をはじめ、熊本地震、西日本豪雨災害と大きな災害が相次ぎましたが、復興は一步一步着実に進んでおり、日本人の底力と人々の絆がどれほどまでにパワーを持つか、そのことを示した時代でもありました。

そして時代は新しい時代「令和」を迎えました。改めて「政治は国民のもの」との原点に立ち返り、謙虚で丁寧な政権運営を後押しすると同時に、引き続き、「ふるさと佐賀」を大切に思う気持ちを再認識し、「豊かさを実感」していただけるよう、8つの提案のもと、82万県民みんなが活躍できる社会を目指し、明日の佐賀を切り拓いていきます。



未来農業



「さが」を創る。

01 農林水産業



農林水産業は佐賀の主役です。
より魅力ある未来産業へ

■水田農業振興対策・新規就農倍増計画

- 食の安定供給のため、米・麦・大豆・野菜等を安定的に生産できるよう、水田フル活用等により農業所得の向上と担い手の育成を実現します。

■園芸農業対策

- 収益性が高く持続可能な「強い園芸農業」を目指し、「さが園芸生産888億円推進事業」を後押しするとともに、国内・海外向けの「高品質なアジア最高の食材」をコンセプトに、世界の消費者に支持される園芸作物生産県「さが」を目指します。

■畜産振興対策

- 安心安全と高品質生産による「佐賀牛」等のブランド確立、耕畜連携による県産飼料の利用増進と資材高騰対策の強化及び、養豚、酪農、養鶏の経営安定対策の充実に努めます。

■土地改良事業の促進

- 水利施設等の維持管理予算の充実による暗渠排水事業や、クリーク・水路の法面の保全対策等を推進し、大規格化に適應した農地中間管理事業の推進による農地と農道の更なる利便性の向上を図ります。

■中山間地等農業振興対策

- 家族農業、中山間地農業など多様で多面的な農業を守り、地域振興を図ります。また、棚田地域の振興のための制度の創設や、有害鳥獣対策（防護柵）等の整備促進と捕獲者の育成を推進します。

■水産振興対策

- 有明海、玄海の漁獲量減少の原因究明と育てる漁業を推進し、水産加工施設の整備と販売を強化、経営安定対策を進めます。

■森林林業再生対策

- 森林環境譲与税を活用した森林の適正な維持管理を促進し、自然災害に強い県土づくりを進めます。
- 海を守ることは森を育てること。林業を活性化させ林業従事者の雇用の安定と県産木材の利用促進に努めます。

■新しい時代の農業を創る

- 担い手となる若い農業者の育成は急務。品目ごとの人材を育てるため、露地野菜やイチゴ等、施設園芸の先進農家の指導の下、一人立ちを支援するトレーニングファームの取り組み等、未来に挑戦する新しい農業者を支援します。

一人ひとりが働く喜びを 実感できる「さがづくり」を 支援します。



02 商工業

成長戦略は「産業振興」「戦略市場創造」
「国際展開」の3本柱です。地域経済の再生のため、
県民の雇用拡大を図ります。

■新しい時代の産業おこし

- 東アジアに隣接する地の利を活かし、国際展開する中小企業の支援を行います。
- 更に、これから必要性が高くなる代替エネルギー分野、農商工連携により佐賀らしさを活かした高付加価値の商品開発を支援します。
- 行政サービスと民間サービスの共同利用型キャッシュレス決済等の支援を行います。

■働く人の希望にかなう雇用の創出

- 働く人の希望にかなう雇用創出を図るため、就労マッチングの支援を強力に推進します。
- 雇用拡大につながる企業誘致や研究機関の誘致を図ります。

■まちなにぎわい創出

- まちなにぎわい創出等に資する事業に対して支援を行い、商業施設及び商業基盤施設等整備事業などのハード事業や、回遊性向上のためのイベントの開催、空き店舗を活用したチャレンジショップの運営などのソフト事業の活性化を図ります。

■足腰の強い佐賀の商工業

- 焼き物・家具などの伝統的地場産業の振興・新規市場開拓の支援を行うと共に有田焼創業400年事業で生み出されたネットワークを最大限に活用し、県内産業の振興を図ります。
- 更に、ICT活用等による経営の合理化・安定化を目指す地場中小・小規模事業者には税制、金融両面での支援を行います。
- 中小企業・小規模事業者の円滑な事業承継を促進するため、相続税や贈与税の免除を措置しました。早期の計画的な事業承継の準備から事業承継後の経営革新等への支援まで、切れ目ない支援を行います。
- また、後継者不在の事業者向けに、第三者による承継を含め、さらなる支援策を検討します。

■技術開発の推進・支援

- 技術開発は成長戦略の柱です。県の各種研究機関の充実を図り、民間企業の研究開発を支援します。

■観光産業の振興

- 佐賀は「食・酒・器・湯・祭・人」などの素晴らしい地域資源を有しています。それらを有機的に結びつけ、食の文化の発信や新たな雇用を生み出す観光産業の推進を図ります。

誰もが安心して 活躍できるまち 「さが」を確立します。



03 医療・福祉・女性活躍



すべての人にとって温かく、
多様でフェアな社会を実現します。

■医療

- 医師、歯科医師、薬剤師、看護師等、質の高い人材の確保に努め、医療体制の更なる充実を図ります。
- 佐賀県民のがん発症を抑制します。
- 過疎地や離島などの不利な地理的条件の下でも医療の質を確保します。

■福祉

- 障がい者(児)の就労支援を進め、障がい者(児)が夢を持って暮らせる社会づくりを目指します。
- 認知症予防など、要介護者を増やさない取組みを強化し、健康寿命延伸を図ります。
- 家族の介護によって、職を失うことがないよう対策を講じます。(介護離職ゼロ)
- 必要な介護人材の確保のため、介護士の処遇改善を引き続き行います。
- 本当に必要な方々に十分な支援ができるように、生活保護の不正受給には厳格に対応します。

- 障がい者(児)や要介護者の災害からの事前避難を目的とした医療機関への入院等について、より明確な指針を示します。
- 10月から、収入の少ない年金生活者の皆さんに、年間最大6万円の福祉給付金を支給します。さらに、介護保険料の負担を3分の2に減額します。

■女性活躍を推進

- 女性に対する就労支援や政治へのさらなる参画を進めます。
- イクメンやイクボスなど男性の意識改革と職場風土の改革を促し、家事・育児を適切に分担する社会を目指します。



健やかに伸びやかに育つ 「佐賀の子育て」



04 子育て



子どもは社会の宝です。

子育て支援サービスや子育て環境の整備・拡充を図ります。

■子どもの成長にあわせた きめ細やかな政策を推進

- 不妊治療にかかる経済的負担の軽減のみならず精神的負担の軽減にも十分配慮しながら、妊娠を望む女性の心に寄り添った施策の拡充を図ります。
- 周産期医療体制の強化を図ります。
- 延長保育・病児病後児保育を拡充します。
- 放課後児童クラブの拡充を図るとともに、その待機児童は早期の解消を目指します。
- 保育士給与は、平成29年度より月額約5千円、経験者は月額4万円程度引き上げられています。今後も引き続き必要な保育人材を確保するため、保育士の処遇改善、多様な人材の確保・育成に取り組めます。
- 三世代同居、近居を推進し、リフォーム等の支援を行います。

■子どもの未来・安全のための 環境づくり

- 待機児童ゼロに向けた取り組みを一層加速します。
- 10月から、3～5歳の全ての子どもたち、0～2歳の住民税非課税世帯の子どもたちの幼児教育・保育を無償化します。
- 来年4月から、真に経済的支援が必要な子どもたちの高等教育無償化、私立高校の実質無償化を実現します。
- 児童相談所の体制強化等により児童虐待の根絶を図るとともに、昨今の交通事故や痛ましい事件を踏まえ、総合的な子どもの安全対策に徹底的に取り組めます。
- 子どもの現在・将来が生まれ育った環境に左右されない、実効性ある子どもの貧困対策に取り組めます。

佐賀の歴史と文化に触れ、 心豊かな「さがっ子」を 育みます。



05 教育・スポーツ



教育に力を注いできた歴史を持つ「佐賀県」。
子どもたちの豊かな心と、健やかな体を育む教育を
推進します。

■地域で、そして世界で輝く 子どもたちのために

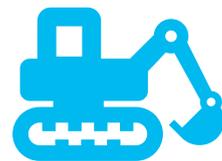
- 佐賀の歴史、文化を正しく学ぶなど、郷土愛を育む教育に力を注ぎます。
- 健全な体や心をつくる食事の大切さやマナーをはじめ、食材のこと栄養のこと等を学ぶ「食育」を推進します。
- 生きる力を身に付けるために、確かな学力とコミュニケーション能力を高める教育を行います。
- 新たな仕事や新たな価値を自ら創り出すことが出来る創造力を育む教育を推進します。
- 子どもたちと教職員のふれあいを大切に、小規模学級、チームティーチング、ICT教育の推進を図ります。

■すべての県民がスポーツに親しむ 環境を

- 令和5年に佐賀県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けて、選手・指導者の育成、競技人口の拡大や競技施設などの基盤整備を図ります。
- 障がいのある人もない人も、あらゆる世代の誰もが、スポーツに出会い、それぞれのスタイルで楽しむことのできる環境づくりを目指します。



「佐賀」の未来は、 防災・減災を見据えた 公共投資から！！



06 公共投資



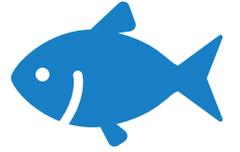
佐賀の持続的発展を目指すと共に、
県民の安全で安心できる生活環境を創出します。

■佐賀の未来に必要な公共投資

- 防災・減災や産業活性化のため、道路、河川、港湾、海岸などの整備や、地滑り対策を促進します。
- 生産効率向上に資する農林業、漁業の基盤整備を行います。
- 県内の経済発展のために必須となる高規格道路の整備を促進し、ネットワーク化を図ります。
- 産業・県内雇用の拡大に結びつく企業誘致や研究機関の誘致に不可欠な工業用地の確保を行います。
- 公共施設等の耐震化を進めます。
- 工事量の確保や労働環境の改善などにより、中長期的な建設業の担い手確保に取り組めます。
- 九州佐賀国際空港が、九州のゲートウェイ空港となり、アジアとの交流拠点として将来に亘り飛躍していくため、2,500mへの滑走路延長計画を着実に進めていきます。



みんなの願い！ 有明海の再生



07 宝の海・有明海の再生



いま、有明海がピンチです。

自民党にはかつての宝の海を取り戻す責任があります。

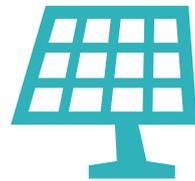
■諫早湾干拓問題

- 諫早湾干拓潮受堤防の締切から22年が経過する中で、漁業被害は深刻さを増しています。一日も早い開門調査を求めるとともに、有明海再生事業を進めていきます。
- 有明海沿岸4県が、宝の海・有明海の再生に向けた協議を加速させ、干拓地での営農を損なうことなく、農業者と漁業者の双方が成り立つ解決策を求めています。
- 開門調査が実現するまでの間、調整池からの排水はできるだけ少量、かつこまめな排水を行うなど、丁寧な運用を強く求めています。

■有明海の再生策

- 有明海の生育環境の改善対策として、ナルトビエイの駆除、貝殻散布、海底耕耘等の事業を継続します。
- 海苔の生産は順調であったものの、有明海西南部海域の海苔の色落ち被害、タイラギ、赤貝、アゲマキ等の二枚貝は依然厳しい状況であり、調査、研究の下、再生を実現します。
- 有明海で獲れる優れた海産物や景観を生かし、観光振興を図ります。

私たちの暮らしを守り、佐賀の成長の鍵となるのは、エネルギーの安定供給です。



08 エネルギー



バランスの取れた多様なエネルギー源を確保することが、エネルギーの安定供給に繋がります。国民の生活、産業の振興には「安定した基幹エネルギー」の確保が必要不可欠です！

■安定した基幹エネルギーの確保

- 原子力については、安全性の確保をすべてに優先します。そのうえで、責任あるエネルギー政策の実現に向けて、国民、県民の皆様との理解を得ながら取り組んで参ります。
- また、更なる安全性向上を追求するなど、様々な課題に対応するための技術・人材の確保に向けた取り組みを進めます。
- なお、発電事業者に対しては、原子力発電の自主的安全性向上や、防災対策の強化を強く求めます。
- 火力については、地球温暖化の原因となるCO₂の削減対策を更に進めます。

■安心できる再生可能エネルギーの普及・推進を求めます。

- 太陽光については、国民負担を考慮し、電源間のバランスの取れた最大限の導入を図ります。

- 風力、水力、地熱など、多様な再生可能エネルギーの導入を加速させると共に、海洋エネルギー等の新たな自然エネルギーの活用を目指します。
- 小水力、バイオマス、風力等、小規模な再生可能エネルギー源を組み合わせた分散型エネルギーシステムを構築するなど、佐賀県の地域特性に合ったエネルギーの地産地消を目指します。

■技術革新によるエネルギーの創出を支援します。

- エネルギーの安定供給と低コスト化を両立するための技術革新を進めます。
- 水素社会の実現を目指します。
- 蓄電システムの利用促進を目指します。

エネルギーミックスの確実な実現とエネルギーの自給率の向上に取り組めます。

切り拓く。日本の明日を

日本の明日を切り拓く。

自民党

新しい時代が幕を開けました。急速に進む少子高齢化、激動する国際情勢など、日本が直面する内外の課題は山積しています。

自民党は、こうした課題に立ち向かい、新しい時代の日本を創るため、強い経済、地方創生、災害に強い国創り、全ての世代が安心できる社会保障への改革、そして、国益を確保する外交など、力強く進めていきます。

私たちは、皆様とともに、新しい「令和」の時代を切り拓く覚悟です。自民党にその挑戦を任せて下さい。

佐賀空港の陸上自衛隊配備要請に関する対応について

中国の急激な軍拡や海洋進出、北朝鮮の核・ミサイル開発など、我が国を取り巻く安全保障環境が激変する中、専守防衛を旨とし、国民の命や平和な暮らし、領土・領海・領空を断固守り抜くため万全の態勢を構築しなければなりません。

このような中、中期防衛力整備計画に基づく島嶼防衛の一環として、佐賀空港への陸上自衛隊配備要請がなされています。

「国防」は我が国の独立と平和、そして、国土と国民の生命・財産を守るものであり、佐賀県も国の構成団体として、国防に貢献する役割を当然有しており、また、災害時における緊急対応を考えた時、その有用性についても理解できるところであります。

一方で、この度の要請事案が県民の安全で安心な暮らし、漁業や農業等の環境に著しく影響を及ぼさないよう注視しつつ、安全対策や環境問題などの懸念の払拭に努め、県民の皆様の理解の下、配備計画を進めて参ります。

九州新幹線西九州ルート of 整備について

平成28年3月29日に関係6者により合意された「九州新幹線（西九州ルート）の開業のあり方に係る合意」に基づく事項については、国がフリーゲージトレインの開発を事実上断念したことから、実現困難な状況にあります。

このような中、我々は、新たな財政負担、ルート、並行在来線などの条件を明らかにし、県民の皆様の利益と西九州の発展を見据え、整備方針のあり方について早急かつ慎重に議論を進めて参ります。

「憲法改正」は自民党の使命です。

- 「現行憲法の自主的改正」は、結党以来の党是であり、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の3つの基本原理はしっかり堅持し、初めての憲法改正への取り組みをさらに強化します。
- わが党は改正の条文イメージとして、①自衛隊の明記 ②緊急事態対応 ③合区解消 ④教育の充実の4項目を提示しています。
- 憲法改正に関する国民の幅広い理解を得るよう努め、憲法改正原案の国会提案・発議を行い、国民投票を実施し、早期の憲法改正を目指します。



自民党

佐賀県支部連合会

日本の明日を切り拓く。
自民党佐賀政策集

このパンフレットは、政党の自由な政治活動であって、選挙期間中でも自由に配布できます。

自由民主党佐賀県支部連合会 〒840-0054 佐賀市水ヶ江一丁目8番17号